



明覺寺本堂

所在地：京都市下京区 建築年代：明治30年頃 種別：建築物・宗教 基準：1

明治30年（1897）に、西本願寺門前から東本願寺西側の現在地に移転した際の建物が残る。内陣の前面の十二畳2室の外陣、左右の余間からなる。左の余間は床を有する5畳の上段の間で、門主の御成時に用いられた。本堂、客殿をまとめた小規模ながら格調のある本堂建築である。



明覺寺茶室杏梁庵

所在地：京都市下京区 建築年代：大正9年／昭和初期移築 種別：建築物・宗教 基準：2

本堂の奥に位置する茶室。観月橋近くにあった本願寺門主の別邸・三夜荘から移築されたもので、大谷光瑞から賜った茶室と伝わる。四畳半の茶室と四畳の水屋からなる。南面に躰口、西面に貴人口を設ける。



明覺寺土蔵



明覺寺山門

明覺寺土蔵、山門

所在地：京都市下京区 建築年代：明治30年頃

種別：建築物・宗教 基準：1

土蔵は本堂奥、茶室南側に建つ。2階建て、屋根は本瓦葺で葺く。茶室の露地庭の背景ともなっている。山門は新町通に面し、薬医門形式をとる。切妻造、棧瓦葺で、板臺股が棟木を受ける形式。市中の寺院の表構えを構成する門である。いずれも本堂と同時期に建てられたと考えられる。

※基準：1は「国土の歴史的景観に寄与しているもの」、2は「造形の規範となっているもの」